

# 女性技術者・科学者のリーダーの育成

講演者:

エストレラ・F・  
アラバストロ  
フィリピン

第15回APEC女性リーダーズネットワーク会合  
2010年9月10日

## これまでの状況

- ❖工学部に入学する女子がほとんどいなかった
- ❖工学部の教員の大部分が男性だった
- ❖政治的指導者のほとんどが男性だった
- ❖科学技術機関の長は全員男性だった



# 表 1. 「2009年度世界ジェンダーギャップランキング」が示すフィリピン女性の現状

項目	順位
総合的ジェンダーギャップ指数	9
経済参加・経済機会	11
学業成績	1
健康状態・平均寿命	1
政治的影響力	19

\*出典:2009年度「世界ジェンダーギャップ調査」  
[www.weforum.org/pdf/gendergap/report2009.pdf](http://www.weforum.org/pdf/gendergap/report2009.pdf)



## 現在の状況

- ❖ 1986年以来、女性大統領が2人誕生
- ❖ 女性の閣僚が多数いる
- ❖ 女性の国会議員、裁判官が多い
- ❖ 多くの女性が地方自治体の長を務めている



## 科学技術分野の現在の状況

- ❖ 科学技術省長官 (DOST)に女性が初めて就任(2001-2010)
- ❖ 2005年以降、2人の女性がフィリピン大学工学部学部長に就任
- ❖ 学生の47%、教員の23%が女性



## 科学技術分野の現在の状況

- ❖ 大学で理系分野を専攻し、卒業する学生は男性より女性のほうが多くなった。特に自然科学、医学、応用科学の分野でこの傾向が顕著である。
- ❖ 大学で工学・技術分野を専攻し、卒業する学生は女性より男性のほうが多い。



## 科学技術分野の現在の状況

- ❖ 科学・技術分野の修士号を取得し、卒業する大学院生は女性のほうが男性より多い。応用科学、医学では女子と男子の比率が3:1である。
- ❖ 工学系の研究開発に従事する人は、男性のほうが女性より多い。
- ❖ 科学技術省の職員の43%が女性である。



## 政策環境

- ❖ フィリピンの憲法は、男女が法の前で基本的に平等であることを保証している。
- ❖ フィリピン女性開発計画(1989-1992) – 政策を実現するために策定。



## 政策環境

- ❖ フィリピン・ジェンダー意識育成計画 (1995-2025) - 包括的ジェンダー開発プログラム (GAD) の詳細な計画
- ❖ フィリピン共和国第 9336 号は、政府機関に GAD 関連プロジェクトに予算を充てることを義務付けている。
- ❖ NGO と政府の連携



# ベストプラクティス

## ❖ 女性にやさしい実践:

- 幼い子どもを持つ女性従業員のために職場に託児施設を設ける
- フレックスタイム制度
- 仕事の一部を在宅でこなすことを許可する



## ベストプラクティス

- ❖ 必要なプログラムの根拠として男女別に収集したデータを提示する
- ❖ 科学技術分野における女性の貢献を認める



## 提案

- ❖ 科学・数学分野で確かな基礎学力を養うことができ、多方面の才能を伸ばすことができる教育を女性が受けやすい環境を整える



## 提案

- ❖ 継続的学習の習慣を身につけさせる
- ❖ 科学・技術を重視する女性の組織をもっと活用し、プログラムを効率的に実施できるようにする

